

協力会社 各位

日鉄物産システム建築株式会社  
安全品質グループ

## 2026年度 熱中症防止対策のお願い

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、熱中症の発生を撲滅すべく、下記の通り施策を徹底してまいりますので、協力会社様におかれましても、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

### 1. 熱中症対策用品の配布物

- ① 塩タブレット(1粒あたり塩分 110~130mg含)
- ② 熱中症対策飲料水

### 2. 現場での日常管理

- ① 当社担当者は、【環境省熱中症予防情報サイト】もしくはアプリにて暑さ指数(WBGT)を把握する。
- ② 当社担当者は、暑さ指数(WBGT)30度(厳重警戒)時には『45分作業 15分休憩』実施する。
- ③ 当社担当者は、作業所内での体調不良に関する申告及び体調不良者を見つけた場合の報告・連絡体制を各職長に説明をする。
- ④ 当社担当者は、【熱中症予防対策チェックシート】を用いて作業員全員の体調の自主申告を午前・午後の2回実施する。
- ⑤ 当社担当者不在の時は、職長にて以下の活動を実施のうえ、電話もしくはメール等にて実施状況を報告してください。

- ・【熱中症予防対策チェックシート】を用いて作業員全員の体調の自主申告を午前・午後の2回実施
- ・『指定通りの休憩』、『水分・塩分の補給』、『作業員の顔色チェック』の確認

#### ■体調不良時の対応(作業員の方へ)

- ・体調に不調を感じた場合は、速やかに当社担当者または職長へ申告し、涼しい場所で休憩を取ること
- ・休憩中は、症状の進行を防ぐため、水分補給・塩分補給、氷や冷却材で身体を冷やすこと

#### ■申告を受けた担当者・職長の対応

- ・容体が急変するおそれがあるため、休憩中は必ず付き添うこと

#### ■帰宅後の連絡

- ・帰宅後の症状について、必ず職長または事業主へ連絡すること

#### ■連絡を受けた側(職長・事業主)の対応

- ・速やかに当社担当者へ連絡すること

### 3. 過去において熱中症が発生したケース

- ① 夏季中の作業に従事したことのない経験の浅い作業員
- ② 日本の高温多湿な気候に体が慣れていない外国人作業員
- ③ 高齢作業員(60歳以上)

以上